

仏事コーディネーター
資格取得者を訪ねて
BUTSUJI-COORDINATOR

武蔵屋 (山形県南陽市)

「資格取得の自信が
お客様の安心と信頼をゲット」

渡邊洋史氏
小川亜子氏



左から渡邊洋史氏、小川亜子氏
(武蔵屋南陽本店)

仏壇・仏具・墓石・葬祭の武蔵屋は山形県に一店舗(南陽本店)、お墓シヨールームを南陽市に一ヶ所、セレモニーホールを南陽市に三ヶ所所有し、心温まるサービスと接客は多くの人々に親しまれてきた。
創業は明治二十三年(一八九一)にさかのぼる。渡邊氏は山形県出身、

山形県内では有数の歴史を持つ。同店は仏壇仏具の販売をはじめ、葬祭、墓石の分野に着手し、業容の拡大に力を入れている。

今回、取材に御協力頂いた渡邊洋史氏(仏壇仏具課係長)、小川亜子氏(本店スタッフ)のお二人。渡邊氏は山形県出身、

専門学校卒業後、広告関連の仕事に就いたが、父の死をきっかけに供養関係の仕事に興味を持ったという。仕事を通じて仏事の知識を学んだが、資格取得はさらに知識の幅を拡げられたと話す。現在、お墓ディレクター2級も取得しており、今後も研鑽を積んでいきたいと意欲を見せる。

小川氏は山形県出身、高校卒業後、製造、接客の仕事に従事。同社に転職したのは、祖父の葬儀を同社に依頼したことがきっかけ、その後、葬儀の仕事に興味を感じ、面接を受け転職に至ったという。資格取得後は地域の仏事や風習などをお客様から教えて頂くことも多く、周囲の協力や環境に感謝が絶えない。さらに渡邊氏は小川氏を含めたスタッフの資格取得が社内の活性化や売上に反映されていると話す。資

格を取得した自信と状況に応じた対応がよい結果を生んでいることを実感している。



店舗外観 (武蔵屋南陽本店)

最後に、今年、受験をされる方や考えている方に励ましの言葉をお願いした。渡邊氏は「お客様に安心して頂けるアドバタイザーを目指してください」、小川氏は「資格は自信につながっていくので頑張ってください」とそれぞれエールを贈る。

現在、同社のスタッフは正社員を含め多数在籍、仏事コーディネーター資格取得者は新聞チラシ、名刺への印刷。店内奥には写真と名前が紹介されており、ユーザーの認知度も年々深まっている。また葬祭ディレクター資格者(1級・2級)のスタッフも在籍し、資格取得にたいへん積極的である。

店内には、小川氏をはじめ女性スタッフによる手描きの各種POPや黒板の宣伝などが見られ、明るい雰囲気演出。

取材に訪れた日は、お盆準備セール期間の真っ最中で、取材中もお客様



可愛いお地藏様と洒落たPOPの看板がお客様を迎え入れる(武蔵屋南陽本店)

ちなみに以前から、「仏事の相談」「古いお仏壇の取引」「どんな小さい商品でも一つから取り寄せる」等、気配りの行き届いた数種のサービスは大変好評。同社では今年も受験希望者を募っており、多くのチャレンジが期待される。